



いたこ
潮来市

平成28年8月発行

第162号

議会だより



未来を担う若きクルー!!



特集

インタビュー：潮来高校ボート部… 2～3

6月議会 こんなことが決まりました …… 4

一般質問 10人の議員が市政を問う …… 5～14

自治功労者表彰 …… 15

議会広報編集委員会研修レポート …… 16

表紙の説明は16ページにあります

インタビュー 潮来高校ボート部



市 議 会

2019年の国体（国民体育大会）開催地が茨城県に正式決定し、潮来市では、ボート・トライアスロン・オープンウォータースイミングの3競技が行われます。

今回は、県内で唯一ボート専門部がある潮来高校のボート部を代表して、第27回全国高校選抜大会 男子舵つきクォドルプルで優勝したクルーの皆さんにお話を伺いました。

若きクルーは選手として、また、18歳選挙権の施行により新有権者として未来を担います。



逆境を乗り越え、仲間とともに勝ちとった優勝！

〈全国高校選抜大会、優勝！おめでとうございます〉

ありがとうございます。

予選でオールが折れるトラブルがあり、最下位になりましたが、敗者復活戦から勝ち上がり、決勝まで進出、優勝することができました。「優勝」を目標に、日頃からコーチや先生とコミュニケーションをとり、ずっと頑張ってきたので、予選でのハプニングがあっても、あせらず、敗者復活戦に臨むことができました。

〈ボート部に入学したきっかけを教えてください〉

母がボートをやっており、進められて入学しました。僕は、兄がボート部、大会で活躍しているのを見て、憧れて入学しました。

〈ボートは団体競技 チームメイトとの協力 団結が必要〉

学年は違いますが、4人は中学校から一緒にボートをやってきました。中学と高校は、部活の練習場所も近いの

で、お互いの練習風景を見る機会も多く、いい環境でした。

チームとしては、体格等も含め、一体感がありバランスがとれていると思います。

レースの状況を見ながら、ここぞ！という時に、コックスからの指示が大切です。最後は気持ちを一つにして乗り切ります。

〈ハードな競技で練習も厳しいと思いますが、嬉しい、楽しいと感じる時は

どんな時ですか？〉

レースに勝った時は、つらい練習が吹き飛ぶ瞬間、嬉しくて大声で喜びます。大会では、練習でやったことしか出せないと言われているので、本番で自分たちの力が出ている時、艇のスピードが出ている時、とても楽しい、嬉しいと感じます。嬉しい気持ちをなかなか表現できないのですが、心の中では嬉しいです！



仲村 優志さん 田崎 智大さん 平川 健太郎さん 大輪 龍斗さん 田原 祐哉さん

〈好きな言葉は?〉

自分のモットーは「全力!」です。

中学生の時の先生の言葉、「全力で熱くなれ!」という言葉が好きで、ふとした時に思い出します。顧問の藤岡先生の言葉で「つもりにならない」という言葉が心に残っています。本当に全力だったのか? 一回、一回、自分を振りかえると、次のスイッチが入り、次は、もっと頑張ろうと思うことができます。「最後まで絶対あきらめない!」です。敗者復活戦に挑んだ時も、少しでも諦めの気持ちがあつたら、勝てなかったと思います。「努力すれば結果がついてくる」が好きです。勉強も運動も人より努力すれば、結果も出ると思います。

〈今後の目標〉

ボート部のある会社に就職して社会人として挑戦したいです。ある先生に出会い教員を目指したいと思いました。ボートの指導者など、ボートに係った仕事がしたいです。これからもボートを続けたいです。茨城国体の時には卒業していますが、茨城県は青年のチームが強く、日本代表の方もいるので、そこに食い込んでいきたいと思っています。

〈議会だよりを読んだことはありますか?〉

はい。定期的にポストに入っています。

すが、難しそうなイメージです。

〈選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられました。投票を意識していますか?〉

分からないなりに、自分で考えて投票したいと思いますが、だれに入れたら何ができるのか、分かりにくいので、選択が難しいと感じています。

〈潮来市のイメージは? 将来、潮来市に住みたいですか?〉

あまり意識したことはありませんが、ボートに関しては恵まれている環境だと思います。どこに遠征にいつても、やっぱり潮来が一番いい。空気もおいしいと思います。

住みたいまち、住みやすいまちにするために、議会では皆さんの身近な問題が話し合われています。ぜひ、議会傍聴にもおいでください。議会だよりも読んでみてくださいね。

※舵手つきクォドルプル

4人の漕ぎ手にコックス(舵手)を加えた計5人で行う種目で、スカルオール(一人2本のオール)を使用し、1000メートルの距離を競う。

6月議会 こんなことが決まりました

平成28年度 各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算額
一般会計補正予算（第1号）	+8,370万円※6月補正額 127億9,270万円

ピックアップ

一般会計補正予算（第1号）の
主な内容

（歳 出）

臨時福祉給付金

1,500万円

平成28年度市民税非課税の方の給付金支給に充てられます。

年金生活者等支援臨時福祉給付金（障害・遺族基礎年金）1,500万円

「臨時福祉給付金」の支給対象者で、障害基礎年金受給者・遺族基礎年金受給者の方を対象とした給付金の支給に充てられます。（高齢者向け年金生活者等支援臨時福祉給付金を受給された方は除く）

地下水位モニタリング業務委託

1,080万円

日の出地区液状化対策事業検証業務委託

2,478万円

（歳 入）

臨時福祉給付金事業補助金

1,500万円

年金生活者等支援臨時福祉給付金（障害・遺族基礎年金）事業補助金

1,500万円

復興交付金基金繰入金

2,669万円

震災復興特別交付税

889万円

特別会計予算	6月補正額	歳入歳出予算額
国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	△ 512万円	45億2,920万円
下水道事業特別会計補正予算（第1号）	+ 114万円	18億9,790万円
農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	+ 35万円	5,848万円
介護保険特別会計補正予算（第1号）	+ 137万円	22億 15万円

公営企業会計	6月補正額	予算額
水道事業会計補正予算（第1号）	+ 996万円	9億3,045万円
工業用水道事業会計補正予算（第1号）	+ 530万円	4,337万円

※企業会計の予算額は、収益的支出及び資本的支出の合計額となっています。

ピックアップ

条例改正（専決処分事項の承認）

国民健康保険税条例の一部を改正し、**課税限度額が89万円**になりました。

地方税法の一部改正に伴い、国民健康保険税条例を改正し、潮来市国民健康保険税は、基礎課税額を52万円から54万円、後期高齢者支援金等課税額を17万円から19万円、介護納付金課税額16万円は据え置き、合計限度額は89万円となります。

平成28年第2回定例会

◆会期 6月2日～6月17日

6月補正予算

当初予算総額

**226億円に
9,671万円増額**

予算・条例改正など議案9件、承認2件、報告8件、諮問1件を審議し、全て原案のとおり可決しました。





Q1 防犯体制の整備について

質問 既存の防犯灯の設置台数とLED化への切り替え率は、

答 総務課長

は、平成27年度末で、3490基、LED化への切り替え率は11.57%です。

質問 27年度の切り替え箇所数と28年度の計画、今後の取り組みは。

答 総務課長

27年度の切り替え箇所は、182カ所、今年度の切り替え計画では、210カ所程度をLED防犯灯に交換する予定です。今後の計画、取り組みについては、残り約3000基の防犯灯について、年間約200基程度を15年間かけて交換していく考えです。



交換されたLED防犯灯

Q2 ふるさとづくり寄付金

質問 27年度の実績件数と金額は。

答 産業観光課長

27年度の寄附金申込件数は、504件、申し込み金額は1583万6000円です。

質問 寄付金の事業への構成比率は。

答 産業観光課長

ふるさと納税をしていた際には左の7つの項目の中から選択できます。

《構成比率》

①自然環境の保護に関する事業	(133件	26.4%)
②その他潮来市全体の発展に寄与する事業	(118件	23.4%)
③保健・医療・福祉の増進に関する事業	(113件	22.4%)
④教育・文化・スポーツ活動の充実に	関する事業	
	(79件	15.7%)
⑤産業振興及び観光振興に関する事業	(32件	6.4%)
⑥防災・防犯に関する事業	(27件	5.4%)
⑦市民協働に関する事業	(2件	0.3%)

Q3 加速化交付金事業について

質問 水郷つくばサイクリング整備事業の進捗状況は。

答 秘書政策課長

県で進めている広域レンタサイクル事業に負担をして、広域で快適なサイクリングを楽しんでいただけるような自転車レンタル事業を実施しています。今後、サイクリングやウォーキングで本市を訪れる方や観光客の方々が利用できるようなまち歩きウェブサイトのマップの作成、サイクリングのイベント等を含めた交流人口の増加につながるようなイベントを予定しています。

質問 移住定住おもてなし事業の進捗状況は。

答 秘書政策課長

水郷旧家磯山邸を中心とした事業を計画しています。昨年度から取り組んでいる磯山邸の活用については、今年度も既に展示や体験を中心としたイベントを行っており、6月中には、土日開催の水郷旧家で見せる花嫁衣裳展を企画しました。今までの実績から展示だけでなく、花嫁さんを感じ

識した、ものづくり体験を取り入れたイベント内容になっています。

Q4 震災復興元年について

質問 復興記念イベントの時期と内容は。

答 秘書政策課長

日の出地区の復興、そして潮来市の復興を記念して、多くの市民参加のもと、復興記念イベントの開催を計画していますが、現在、日の出地区においては地下水低下作業を行い、地下水低下や地盤沈下量などのモニタリングを実施しながら、徐々に地下水を低下させているところです。検討委員会により、日の出地区の地下水が予定どおり低下したと判断された後、復興記念イベントを開催したいと考えています。内容については、記念式典、物産展、スポーツ関連イベント等を視野に入れながら開催したいと考えています。

—その他の質問—

○空き家対策と今後の対応について
○第2のふるさと・いばらきプロジェクト事業の進捗状況について



質問者 小沼 英明 議員

Q1 旧有料道路の須賀地区の中央分離帯について

なぜ店舗に入りづらい策をとったのか。

答 都市建設課長

県道に交差点を新設するので道路管理者は茨城県ですが、市道との交差点設置を目的とした工事なので、許可を得て県に代わり市が工事を行いました。交通管理者である県公安委員会と市が交差点協議をする際、当初は従前の交通形態を踏襲してポールを設置は考えていませんでしたが、協議を進める中、以前から右折する車両が後方から来る車両に追突されるおそれや、ゼブラゾーンを横切る際に対向車と接触する等の危険性があつた旨のご指摘を受け、安全性の確保を目的にポールの設置をすることで許可を受けました。

質問 沿線の店舗や住宅に十分な説明はあつたのか。

答 都市計画課長

交差点近くの店舗は、事前に概要を説明し、計画図をお渡ししましたが、少し離れた店舗や住民の皆様へは工事のお知らせはしたものの、ポール設置等の交通規制強化の部分について説明がおくれ事前の説明が不十分であつたと反省しています。

質問 今泉葬儀社さんの車庫から右折は出来ないし、Uターンしないとウェルシアや、し

まむらで買ひ物ができない。ゼブラゾーンを短くするなどの手法はとれないのでしょうか。

答 市長

須賀曲松の事業を起こす時点で精査すべき問題であつたのだらうと思います。公安委員会では、安全性を確保するためには、現在の形でないと許可しませんよということでした。ご理解を賜りたいと思います。

質問 須賀曲松下へ向かう道路の信号が開通した時点で解決するのか。

答 都市建設課長

県公安委員会との交差点協議結果に基づき、解決されるとまではいえません。

Q2 農業委員と農地利用最適化推進委員について

その役割を伺う。

質問 農業委員会事務局長

農業委員は合議体としての意思決定を行い、推進委員は、農地の集積・耕作放棄地の解消等、農地利用の最適化の推進に関する活動を行います。

質問 推進委員6名を伺う。

答 農業委員会事務局長

地区毎に潮来・柄津幸男さん、津知・石井一夫さん、延方・関沢勝衛さん、大生原・原正章さん、香澄・薄井登三男さん、八代・高柳好男さんです。

再々質問 報酬を下げてでも、地区1人ではなく倍の12名にするのはいかがか。

答 市長

行方や鉾田等と比べると、かなり少ない農地面積で、ある程度農地の集積も進み出している状況の中で各地区1人に決定、農業委員と協力しながら農地集約を図っていくという考えで6名です。

質問 その選出理由と基準を伺う。

答 農業委員会事務局長

候補者の経歴、推薦理由、参考項目などを総合的に判断し、農業委員会総会において選出しました。

再質問 生産調整未達成の方や違反転用の委員はいないかと解してよろしいか。

答 農業委員会事務局長

生産調整は、何年か未達成の方が1人、1年だけ未達成の方が1人いました。違反転用の方はいません。

Q3 平成28年度潮来市公共工事等発注見通し(当初分)より

質問 ①H27市道(牛) 1027号線道路改良工事、②H28市道(潮) 193・195号線改良工事は、見通しの中では一般競争入札の予定であつたが、なぜ指

名競争入札になつたのか。

答 財政課長

工事の内容、期間、地域の事情、隣接工事等の調整状況を指名選考の選考において考慮した結果、指名競争入札として執行しました。

質問 潮来市広告第83号工事名潮来市立牛堀公民館耐震補強工事の参加資格が「総合評価点(P)が650点以上900点未満のもの」とあるが説明を願う。

答 財政課長

最新の経営事項審査における総合評価で、条件つき一般競争入札の条件を調整している案件です。

再質問 人々が多く出入りする公民館の工事においてなぜランク点の多いものを省くのか。

答 財政課長

市内業者の方、650から900点の方の中で競争していただいたほうが良いという選考委員会の結果を持ち、条件つきという形になりました。

— その他の質問 —

○都市計画税廃止の財源のその後について

○平成27年度入札について



Q1 子育て支援について

質問

本市のファミリーサポートセンターは助成制度などが、利用状況は。また、まち・ひと・しごと創生総合戦略にうたわれている子育て支援の拠点づくりが早急に望まれるが、その実現性は。

答

子育て支援課長

ファミリーサポートセンターは、子育ての援助を受けた人々と援助を行いたい人が会員となり地域で支え合う組織で、会員同士でお子さんの一時預かりや送迎活動などを行っています。利用状況は、平成25年度227件、26年度286件、27年度529件です。27年3月に策定された潮来市子ども・子育て支援事業計画において、いつでも地域の身近な場所において親子の居場所を確保し、子供の成長、発達段階にあわせた遊びや専門的な相談支援が受けられる拠点として、総合的な子育て支援センターの整備を進めることとしています。潮来市子ども・子育て会議での意見を聞きながら、計画の推進、実現に向け、公立保育所、幼稚園等の既存施設の活

用や多機能化することも視野に入れ、子育て支援の拠点となる子育て支援センター整備の検討を進めていきます。



ファミサポを利用する会員とサポートする協力会員

Q2 稲井川周辺地区の整備について

質問

現在、稲井川周辺地区の整備（排水管工事等）が進められています。今後、道路が新設されると思うが、その予定路線のルートと完成時期は。また、整備終了後、この地区はどのような土地利用を展開していくのか。

答

都市建設課長

ファッションセンターしまむら前の交差点箇所を起点として、曲松南地内のアンコウ川の親水公園付近までの全長約1.1kmの整備で、28年度中に完成する予定です。古くから集落が形成されている区域に関しては、居住環境の保全を基本とする土地利用の誘導を図り、一方で前川に面する須賀南、曲松南の区域の約11haの土地は、都市的未利用地を対象に商業、業務等の土地利用を計画的に誘導していきます。

Q3 水辺を生かした新たな観光ルートについて

質問

あやめ祭り期間中、大型バスの観光客は駅前ロータリーで降り、観光後にまたバスが迎えに来る方法がとられている。

「道の駅いたこ」まで延方千拓水路を利用して、道の駅まで遊覧船が運航できるとなれば、バスは道の駅の駐車場で待つ手法、またこの逆も考えられる。水辺を生かした新しい観光ルートもできそうですし、売り上げも増加、道の駅の活性化にもつながると考えますが、市の見解は。

答

市長

道の駅からプールまでは河川ではなく、水路になっており、現状のままでは行き来ができません。そこまで行くルートを馬車など色々違うものにして、ルートができれば道の駅と前川あやめ園がつながりますので、広い意味で潮来市の水運観光が広がるというのが大切なことだろうと考えています。私自身は進めたいと思います。構想をきちつと練った後に計画づくりをしつかりと行い、1年、2年でできることではありませんが、私の任期中に何とかしたいという思いで早急に検討、そして事業化できるように進めていきます。

—その他の質問—

- 潮来市結婚支援協議会の設置の予定と具体的な活動内容は。
- ふれあいパーティーの開催予定と内容は。
- お見合い支援の具体的な活動内容は。
- 定住促進事業の市内外への周知活動をどのように行っているのか。



議員 政則 大野 質問者

Q1 日の出地区地下水位低下工法並びに復興記念事業について

質問 地下水位低下に伴い、地盤沈下が起きた場合の補償問題は。

答 建設部長

事業との因果関係などを調べ、その上で県を通じ国に協議、要望していきます。国のほうで認められないときは、市のほうで何らかの対応をさせていただくという方向で考えています。

質問 復興記念事業として、日の出を中心に物産展やスポーツ関連の復興イベントの考えは。

答 秘書政策課長

地下水位が予定どおり低下したと判断されたのち、復興記念イベントを開催したいと考えています。内容は、記念式典、物産展、スポーツ関連イベント等を視野に入れ、日の出地区を中心に計画する予定です。

Q2 日の出地区への消防施設、警察施設の誘致並びに防災公園の整備について

質問 市民の安全・安心を確保するために、日の出地区に警察施設を誘致すべきと考えるが、市の見解は。

答 総務課長
引き続き警察関係機関と協議をしてまいりたい。

質問 消防施設を設置基準の範囲がクリアされていない地区はどこか。

答 総務課長

米島、徳島、福島の一部の地域が入っていません。

再質問 米島、徳島、福島がエリア外であるという中で、市民の安全・安心を確保する上でも、消防施設を誘致すべきと考えるが、市の見解は。

答 市長

課題は、土地を潮来市で確保していかなければならないこと。また、3市（潮来市・行方市・銚田市）で意見の統一を図らなければなりません。出張所ができることで人件費、その他消防の定数等も変わってきますので、本年度から来年度にかけてしっかりと議論していくことを今進めています。

質問 大規模災害に備え、各種防災機能を備えた防災公園を整備する必要があると考えるが、市の見解は。

答 総務課長

今後、内容も含めて必要性や設置場所、設置規模等を検討してまいりたい。

Q3 地域公共交通網形成計画等について

質問 潮来市地域交通活性化協議会の概要と今後のスケジュール、また、本協議会で策定される地域公共交通網形成計画の活用等を伺う。

答 秘書政策課長

協議会は今年2月に設立、委員数は21名で、公共交通に関係する各機関等からも参画をいただき、会長に庄司副市長が就任しています。今年度末までに潮来市地域公共交通網形成計画を作成します。この計画は、公共交通関係者との合意形成を図った上で策定される、市にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにするマスタープランとしての役割を果たすものです。事業実施の根拠としていけること、国庫補助金の上限が嵩上げされることなど策定により色々なメリットがあります。市の公共交通施策の最上位計画として位置づけられ、水郷潮来バスターミナルハブ化構想の具体化のための各種施策についても位置づけていく予定です。

質問 原市長が唱える水郷高速バスターミナルハブ化構想の概要並びに今後の進め方は。

答 秘書政策課長

鹿行5市、千葉県香取市等との連携の上、水郷潮来バスターミナルを本地域の玄関口とし

て捉え、本地域の主要な拠点とバス等の公共交通網により本バスターミナルをハブとして結び、地域住民の利便性の向上、地域全体の産業振興及び発展を図る構想です。5月に運行を開始した広域連携路線バスは、市民の移動手段の確保に加え、ハブ化構想の先駆的な取り組みの一つです。今後は、国土交通省関東運輸局、茨城県等からご助言をいただき、近隣各市とも密接の連携の上、近々に本格的な協議会等が立ちあがる予定で、新たな路線を整備など、ハブ化構想をより具体化していきたい。

Q4 児童館施設について

質問 子供に健全な遊びの場を提供して、情操を豊かにするために児童館を設置すべきと考えますが、児童館を整備する予定はあるのか。

答 子育て支援課長

潮来市子ども・子育て支援事業計画に基づき、平成27年から31年の5年間の間での重点施策として子ども・子育て支援センター整備があります。児童館の機能を有した子育て支援センター整備については、現在、潮来市子ども子育て会議において具体的に検討しており、今後方針案をまとめていきます。



質問者 飯田 幸弘 議員

Q1 主権者教育について

質問 子供たちの、発達段階に応じた取組をどのように行っていくのか。

答 学校教育課長

参加型、体験型の活動を通して主権者教育への啓発を行いたいと考えており、小学校では、話し合い活動を充実させ、自ら考え、判断し、行動していく態度が身につく、さらに討論会も効果的であり、ディベート方式も有効だと考えます。中学校では、模擬選挙等の実施により効果上がるものと考えており、生徒会役員選挙で立会演説会や投票が行われ、全生徒が選挙を経験しています。選挙管理委員会から投票箱を借用し、実際の選挙と同じ形をとっている学校もあります。こうした取り組みが、主権者教育へとつながっていると考えます。

質問 教育基本法第14条第1項、教育基本法第14条第2項に基づき、政治的中立を確保しつつ、具体的にどう行っていくのか。

答 学校教育課長

教員が政治的教養に関する教育を行う場合、党派的な主張や政策に触れることはあり得ることであり、各政党の政策等を批判

することが直ちに抵触するものではないが、その場合には他の考え方や見方を紹介したり、異なる見解を示した複数の資料を使用したリ、教員の個人的な主義主張を避けて中立かつ公正な立場で指導するよう留意しなければならないと考えます。政治的中立を確保しつつ、主権者教育に取り組んでいます。

Q2 英語教科化について

質問 小学校における指導体制整備について伺う。

答 学校教育課長

英語教育の教科化による指導内容の高度化、指導時間の増加に対応する必要がある中、十分な英語指導力を備えた人材の確保が急務となっており、また、活動型英語教育の開始に伴い、学級担任も外国語活動の指導を行う必要が生じるため、研修を初めとした指導体制の強化が重要となります。県と連携して小学校外国語活動推進事業により英語教育の一層の充実を推進していきます。

Q3 公共施設等総合管理計画について

質問 公共施設等総合管理計画、策定の進捗状況を伺う。

答 財政課長

平成27年度、台帳を集約し、3月末に整備が完了し、現在は、総合管理計画策定業務委託の設計が済み、完了は平成29年3月上旬を予定しています。本年度の計画は、市有資産の総把握により、維持管理経費を明確にし、人口推移と財政推移を合わせた上で、総合的な管理計画の計画期間20年間の基本方針を策定していく考えで、計画策定委員会を設置し、意見を反映した計画を作成していきます。

Q4 地域自立支援協議会について

質問 3月定例会にて、協議会の中の療育専門部会・相談支援専門部会の2つの専門部会を設置して、機能強化を図るのとこのでしたが、進捗状況を伺う。

答 社会福祉課長

療育専門部会は、昨年度2回開催し、市の療育の現状や、発達に気になる子の就学前及び就学後の取り組みについて、意見交換を行いました。委員は、講演会や研修会にも参加しています。専門支援部会は、昨年度、市内特定相談支援事業所から委員を推薦いただき、障害福祉のサービス等の利用状況の把握と相談支援につい

ての協議や、困難事例の事案の意見交換を行いました。

Q5 地域包括ケアシステム構築について

質問 地域包括ケアシステム構築に向けた取組内容の中には、3月定例会にて、本年度取り組みとのことでしたが、進捗状況を伺う。

答 社会福祉課長

高齢福祉サービスの向上と効率化を図るため機構改革を行い、新たに高齢福祉課を設置しました。本年度は、事業推進の体制づくりとして、生活支援コーディネーターを確保できるよう努め、協議会の設置に向け、ボランティア団体等の協力を得て、整備を進めます。

—その他の質問—

- 専門部会での意見等はどのように活かされるか伺う。
- 生活支援コーディネーターの役割と資格要件はあるか伺う。
- 現在、地域包括支援センターは社会福祉協議会にあるが、今後委託を継続する場合、強化支援が必要と思うが見解を伺う。



議員 直紀 兼平 質問者

Q1 地方創生の今後について

質問 地方創生関連交付金を活用して事業をしているが、地方創生を深化させるための交付金を活用する事業・施策は検討しているのか。

答 秘書政策課長

加速化交付金は、昨年度、国からの予算配分を受け、事業については、平成27年度から28年度に繰り越し、現在、多種多様な事業を進めています。推進交付金、地方創生応援税制といった地方創生関連絡みの再生法の一部を改正する法律が出されており、その中の事業について、推進交付金を初め、地方創生応援税制、これは企業版ふるさと納税と言われるものですが、それらの取り組みについて検討しています。

Q2 潮来市総合計画と潮来市総合戦略との関連について

質問 原市政のもと実現された公約（都市計画税廃止等）、策定された総合戦略が、今後、重要事業に大きく影響するのであれば、新たな体制のもと市の上位計画である総合計画を見直すべきではないか。

答 秘書政策課長

地方版総合戦略は、既に策定されていた総合計画のうち、人口減少対策や地方創生に関する分野に特化し、補完する重点施策であると言えます。総合計画は、市全体の総合的な振興、発展などを目的とし、全分野を網羅する計画です。両者の目的や含まれる施策の範囲は必ずしも同じではありません。しかし、潮来市における第6次総合計画と総合戦略は、全く相反する施策が示されているということではありません。行政の継続性からも、整合性が図られているという考えです。

Q3 市のサイン（案内板）計画について

質問 潮来市は来る茨城国体・東京オリンピック、国際観光都市を目指すのであれば、おもてなしの心が伝わるような、統一されたデザインのサインを作るべきではないか。

答 秘書政策課長

現在のサイン計画は15年前に策定されたものであり、現状にそぐわないこともありますので、見直しを行う必要があると考えています。

Q4 広域路線バス実証試験について

質問 実証試験の結果によって、6ヶ月で運行を終了するということもあるのか。

答 市長

実証試験を通して情報を収集し、この地域にあった持続可能な運行の在り方を検討していきたい。

質問 行方市から国道355線をとおり、牛堀・潮来市街を通るコースは考えなかったのか。

答 市長

今回の実証実験は、鹿嶋市、行方市、潮来市がそろって参加できるルートの中で、ここが最適ということで選定しています。が、今後順次広域的なコースを考えていくと同時に、本年2月に設立した公共交通活性化協議会で、地域の交通手段の確保について計画を策定していただき、それに基づいて施策を実行に移していきたいです。

Q5 潮来市街地の活性化と道の駅の今後について

質問 市内の業者が開発した商品や道の駅で開発した商品を市内の業者が販売することは可能か。

品を道の駅で販売したり、道の駅で開発した商品を市内の業者が販売することは可能か。

答 産業観光課長

道の駅は地域事業のアンテナショップとしての役割があり、市内の事業所の方が開発した商品の販売は可能であり、新商品の開拓にもつながる可能性があります。また、営業目標の1つに、開発した商品の地域還元を掲げており、道の駅で開発した商品を市内の事業者が販売することも可能で販売している実績もあります。

質問 道の駅を運営している（株）いたこは税金を出資した法人です。道の駅を市街地・観光の活性化、特産物開発の新たな拠点として活用できないか。

答 環境経済部長

現在も活用をしています。が、今後、ご提案を含め新たな活用について検討していきます。

質問 道の駅の特産品から潮来市全体の特産品に拡大していくために、特産品開発を会社事業として行うことができないか。

答 環境経済部長

現在開催中のあやめ祭り、商工会が新たにイチゴジュラートを販売し、大変好評です。真中シェフにアドバイスをの得ながら、市内生産者の農産物を利用して製造したと聞いています。今後、道の駅の設備を活用し、新たな展開を図っていききたい。



質問者 阿部 慶介 議員

Q1 ヘルスランドさくらについて

質問 利用料金は一般の方は510円、高齢者70歳以上が200円です。

茨城県では県内の65歳以上の高齢者が、協賛店舗で「いばらきシニアカード」を提示すると優遇を受けられます。さらには協賛店にはなっていないが、県で高齢者の優遇を65歳からとしているので、施設の高齢者の年齢を65歳に下げ、利用しやすい環境を作ることは検討されているか。

答 環境課長

料金は、市内の障害者、中学生未満が無料で、中学生及び高校生が200円、一般510円、高齢者、満70歳以上は200円です。現時点においては適正な料金設定と考えています。利用者の負担軽減や利用促進のため、5回利用すると1回無料で施設を使用できるスタンプ会員制度やお楽しみ抽せん会、カラオケ無料の日の設定、健康体操の実施など各種サービスを行っています。指定管理者と協議しながら、全ての利用者が利用しやすい環境となるように施設運営をしてまいりたい。

質問 潮来市は健康都市宣言をしています。運動して健康

になり病院に行く回数を減らし、市の負担を少なくする、その為には市民の皆様が健康になって頂く環境を作る事が大事です。200円の利用料金を70歳から60歳に引き下げは。

答 環境課長

他市町村の公共の温浴施設を調査し、状況を比較して料金を設定しました。数多く利用する方は、回数券、スタンプ会員制度、ポイント2倍デーなど、各種サービスを活用いただきたい。

Q2 日の出コミュニティ広場について

※広場II日の出コミュニティ広場

質問 防災面からも重要で、区民にとって無くてはならない大事な場所、広場を18年々今までの十年間と同様、賃貸契約を1年更新のまま継続するのか、別の考えを持っているのか市長に伺う。

答 市長

民間の2社から借りています。相手方の意向もあります。が、今後も継続して借りられるよう交渉していきたい。

質問 広場が使えなくなった場合、日の出の学校、区、市の行事等はどこで行いますか。

答 生涯学習課長

前川の運動公園が整備され、多目的広場になっているので使用したい。また、旧牛堀地区のかすみの郷公園など、利用する目的によって、両方使い分けていくことも考えています。

質問 前川と牛堀の公園を利用

の事でですが、小中学校の行事で駐車場として使用する場合、前川では遠いと思うが、いかがか。

答 生涯学習課長

既存の施設、日の出のグラウンド、日の出小学校のグラウンド、中央公民館の駐車場を利用して対応できると考えています。

答 教育部長

広場は商業地域、本来、商業施設が入ることでの利便性が高まり、日の出地区のポテンシャルが上がります。そのような土地利用が本来は市が望むところです。2社のご好意により無償で借りています。2社は固定資産税の減免があり、維持管理しやすく、皆さんにご利用いただいているのでコミュニティの振興にもつながっている。市は、税金を減免することにより土地を利用でき、3者が今、お互いにいい状態です。

質問 広場の維持管理や水道代の負担は日の出区と区民のボランティアで行っています。ボランティアの方々の高齢化、区の加入率低下もあり厳しい状況。市から都市公園の様に協力頂ける事があるのか伺う。

答 生涯学習課長

日の出コミュニティ広場維持管理協議会と市で覚書を取り交わし、維持管理をしていただいています。市では、大型草刈り機や山砂等の提供を行い、多額の経費がかかる修理等については協議会と調整しながら行っていくという策を実施しています。今後ともご協力、ご理解をいただきたい。

質問 日の出には防災公園が必要だと思うが、消防署や警察の誘致にコミュニティ広場を検討していますか。

答 市長

日の出地内の中であいている土地等、買取できる土地、利便性も含めて、日の出の4車線のところは全て検討対象に入っています。

—その他の質問—

○日の出地区の空き地利用の太陽光発電について。
○日の出地区の街路樹の植栽について。



議員 清

田 崎

質問者

Q1 日の出復興工事の進捗状況について

質問 復興交付事業の実質事業費、今後の事業と事業費は。

答 復興工事推進事務所課長
約195億円の交付を受け、約170億円発注、業務を完了しています。

今後、十番ポンプ場外構工事約1億円、日の出雨水排水ポンプ場放流管渠更生工事約1億1000万円、委託業務は、地下水位モニタリング業務約7000万円、液状化対策事業効果検討委員会業務約5000万円、家屋事後調査等を予定。

質問 復興工事推進事務所設置の成果、かかる人数、人件費、県からの財政的支援は。

答 復興工事推進事務所課長
成果としては、3月に工事が完了し、4月から地下水位低下を開始できた。27年度の職員数は、所長を含め7名で、人件費は約5800万円です。

※新規発生分ではありません。

答 市長
県の財政的支援はありません。

質問 復興元年として今後どのような事を行うか、完成していない工事の完成はいつか、効果検討委員会の設置目的とスケジュールは。

答 市長
高速バス通勤・通学者への定期券助成事業、バスターミナルハ

化構想の実現、公官署、消防署、警察署、商業施設等の誘致を図ってきたい。

答 復興工事推進事務所課長
十番ポンプ場外構工事は、6月完成予定。避難誘導灯は7月頃の通電、電柱の抜柱は28年度中と聞

いています。

答 復興工事推進事務所課長
地質工学専門の方で構成され、地下水位低下に伴う内容等を検討。現在、試験的に2カ所マンホールポンプを下げっており、所定の位置までの水位低下は来年1月頃の予定。

Q2 都市計画税廃止に伴う新たな財源確保について

質問 新たな財源として現在どのくらい確保されたのか。

答 財政課長
歳入690万円と、歳出削減により、約2250万円です。

質問 28年度予算で新たな収入は何をいくら見込んでいるか。

答 財政課長
見込みは1億5580万円。市の歳入、歳出全額をもって財源に充てます。

《財源内訳》	
ふるさと納税	1,500万円
固定資産税	7,300万円
軽自動車税の新税率適用分	340万円
市税の徴収率向上分	1,590万円
土地賃借料	1,400万円
市長給与3割減	450万円
随意契約の見直し	3,000万円

質問 ふるさと納税の収入額の内訳と今後の見込額を伺う。

答 産業観光課長
見込みは、昨年同様1500万円。

《平成27年度の主な収入額内訳》	
潮来産コシヒカリ	202万円
釣りざお	900万円
常陸牛 1kg切り落とし	55万円
常陸牛 すき焼き用	62万円
美明豚 ギフトセット	28万円
地域ブランド米	
潮来あやめちゃん	23万円

Q3 東関東自動車道路（潮来～銚田間）の事業進捗状況について

質問 用地買収に関する進捗率と残りの契約の進め方は。

答 都市建設課長
全体で約78%各市で進捗チームを配置し推進を図っています。

質問 いつまでに開通されるか、また、要望活動は。

答 市長
期成同盟会として要望活動を強く押し進めてまいります。

質問 本年度の事業費と内容は。

答 市長
約50億円で、全線において、道路設計、環境調査、用地買収等を予定。特に小泉～潮来市延方西1.2kmの区間では、用地買収、改良工事等を実施予定です。

Q4 要介護者への支援について

質問 潮来市における要介護者何人か、年齢層の分布は。

答 高齢福祉課長
男性345人、女性804人。
40歳以上65歳未満：36人
65歳以上75歳未満：144人
75歳以上：969人

質問 市内の介護施設数、施設の入所可能人数及び、入所者数は何人か。

答 高齢福祉課長
・特別養護老人ホームは3カ所。福楽園70床、あやめ荘50床、いたこの郷50床。
・介護老人保健施設は1カ所。あおぞら100床。
・グループホームは2カ所。福楽園コスモス18床、グループホームこころ18床

質問 潮来市の介護者に対する支援（サービス）を伺う

答 高齢福祉課長
主なものは、家族介護用品支給事業、外出支援サービス、家族介護者教室です。

— その他の質問 —

○上水道について



質問者 沼里 真一郎 議員

Q1 日の出地区復興工事での、残土搬入代・地下水位低下・家屋調査・家屋傾き沈下補償

質問 工事残土は、清水地区西の平の砂利採取跡地へ搬入した、全搬入量は、ならし代と単価は。

なぜ、市の推定額で答えて、業者に実際の契約額を聞かなかったのか。

答 都市建設課長

残土搬入量22万5000㎡に対し、土砂の敷き鉄板を含めたならし代の支払い総額は、請負業者と市が契約した額で、経費等を含めた工事費、契約額ベースで、3399万円（税抜き）、単価は、割り返し、約151円（税抜き）。諸経費の算出方法は、便宜上、率を求めて逆算し出した金額です。業者間の契約の額は、市では把握しておりません。

質問 十番ポンプ場の地下貯水槽建設時に発生した残土の搬入量は、日の出の砂でない、その十番の田んぼの土も、清水地区西の平へ搬入しても良かったのか。

答 上下水道課長

搬入量は、9930㎡。復興工事のひとつで、日の出から出る土と、さほど変わらないという事で搬入。契約上も問題ありません。

ません。

質問 地下水位低下に向け観測井戸が設置されたが、水位低下が限定的であり、水位上昇している所もある。効果検証に今後遅れは。未知の地下水流入は。

答 都市建設課長

状況を確認しながら地下水を低下させ、所定位置までの低下は来年1月頃の予定です。

質問 地下水を下げるウエルポイントの増加変更による追加工事は何割増しか。設計前の観測井戸が足りずにデータ不足や、設計ミスは大丈夫か。最初から1mピッチ設計が過設計というのは、市の判断か。

答 都市建設課長

約2割増です。当初、ウエルポイントのピッチ計算は、既存の地質調査で得られた透水性数をもとに算出したが、想定より地下水量が多くウエルポイントを増設変更した。当初は、計算上2mピッチでしたので、1mピッチで設計しては、市として説明がつかない。ご理解をいただきたい。

質問 全戸家屋事前調査は9億円の予算で、随意契約1社で3億6200万円が判明。入札や、合見積もりできたのでは。契約した補償コンサルタント協会で市内業者は1社のみ。いち早い調査へ契約時に市内の他の家屋調査士の有資格業者に協力を求めるべきだったのでは。

答 建設部長

市から、協会に強制する立場にはありませんのでご理解をお願いします。

質問 全額補償へ市長と市の国の要望頻度は。

答 市長

今は、慎重に地下水を低下させていくことに全力を挙げている段階、地下水位を下げて、影響が出た場合は、国、県など関係機関に働きかけをして、しっかりと出来るようにしていきたい。国費対象となるよう要望活動は継続しています。

質問 市内全体で、各家の液状化対策工事を促す補助、住宅リフォーム補助や住宅ローン利子補給はどうか。

答 秘書政策課長

液状化対策検討委員会の調査結果、意見等をふまえ、市独自の助成、国・県への要望は考えていません。住宅リフォーム補助や住宅ローン利子補給は、震災で半壊以上の被害を受けた場合、国と市で2%までの利子補給を継続します。

Q2 災害対策タイムライン・福祉避難所耐震性・ボランティアセンター設置の社協の正職員化と人件費補助を。

質問 福祉の向上のため市社会福祉協議会の鹿行並みへ正職員化と人件費補助を

答 社会福祉課長

協議会全体の機能強化が不可欠であり、正職員の確保は検討すべきと考えます。今後、人件費も含め、必要な補助等の支援について、社会福祉協議会と協議検討してまいりたい。

—その他の質問—

○潮来バスターミナルハブ化構想へ首都圏定時通勤のために高速道沿いの新習志野駅経由の首都圏通勤通学時間高速バスを・道の駅バス路線拡充・デマンドタクシー・タクシーチケットを。
○教育、医療の子育て環境向上で人口流出防止、人口流入へ・高校卒業までの医療費無料化を・給付型奨学金・講師、ALT、教員補助等の増員・栄養士増による教育効果、今後の計画・芸者による芸事教育体験伝承
○選挙開票時の市HP対策



議員 健三 平田 質問者

Q1 地域公共交通システムについて

アンケート調査の実施を伺う。

質問 秘書政策課長

公共交通には鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシー及びデマンドタクシー等、様々な種類があり、市の望ましい公共交通の姿を考えると、輸送人員、採算性及び利便者の利便性等を考慮の上、持続可能な公共交通機関として検討されるべきものと考えます。今後、潮来市地域公共交通活性化協議会でアンケート調査の内容及び対象者等を協議の上、市民の声を詳細に伺うため、各種アンケート調査等を実施します。

質問 デマンド交通システムを交通協議会の議題として取り上げることが提案するが伺う。

質問 秘書政策課長

デマンド交通は、いろいろな自治体で取り組んでいて、その有効性、また課題もあると聞いており、しっかりと研究させていたきたい。

Q2 小規模工事契約について

質問

発注機会の拡大とあるが、登録希望者数の割合の

内容を伺う。

質問 財政課長

47社の内19社という実績で、6割の方は声がかかってない、競争に入っていないという実績です。啓発不足も若干あり、1回登録すれば2年ということですが、そこで声がかからなかったり、見積もりにならないと、そこで終わりになってしまっている業者もいるのも事実です。今後は、この130万円以下の市内業者の発注参加、見積もり参加をグループや各課に徹底しまして、啓発しながら行っていく考えです。

Q3 緊急医療情報シートの拡充について

質問 2人住まい昼間独居の高齢者に拡充できないか伺う。

質問

高齡福祉課長

今後、高齢者だけの世帯や日中一人になる高齢者世帯、また不安を抱えてお困りの高齢者等を対象者に拡大して、希望者にはシート及びステッカーを配付できるように進めます。まず潮来消防署と名簿の管理等について協議を行い、配付方法等検討して、なるべく早い時期に配付したいと考えています。

Q4 荒川区との交流拡大について

質問 防災協定等で交流強化を提案するが市の見解を伺う。

質問 市長

荒川区にあいさつに参りまして、西川区長さん等とお会いしてきました。これからぜひとも交流をもう一度していきたいというところで、快くお引き受けいただきました。昨年の前半に、今度は荒川区の区長さんが中心にやっております幸せリーグという全国の共感する自治体に参加しているそのリーグに入って、職員も研修等に定期的に行くようになっております。また、あやめ祭りの官邸のPR時にも荒川区に寄らせていただき、新しい議長さんと副議長さん、区の幹部職員さん等を表敬訪問させていただきました。本年の大規模稲作研究会の田植え交流会には、荒川区から5名ぐらいの職員さんが直に状況を視察に来ております。より頻繁に交流を深めまして、防災協定なり、もっと深い形でのつながりを持ちたいと考えています。

Q5 高速バス定期券の助成について

質問 対象者要件で問題はないか伺う。

質問 秘書政策課長

まずは、市外からの転入、移住を促進することと、市外への転出を抑制することを第一に考えました。限られた予算の中で、ターゲットを絞って今回の助成金の対象者を定めた経緯があります。「都市圏は通学通勤圏内であること」をまず知っていたら、助成制度をスタートさせることが、この施策を考えた市民会議での考え方です。

質問 ICカードのチャージ機

設置を提案するが伺う。

質問

水郷潮来バスターミナル

へのICカードチャージ機の設置には、防犯対策やシステム利用料及び利用額に対する手数料の支払い等の多額の費用が発生するため、早期に複数箇所を導入するのは経済的に厳しいものがあります。そのような中、今年度からバスターミナル構内組合が神栖市及び鹿嶋市にICカードチャージ機を設置していく予定であると確認しており、水郷潮来バスターミナルにも設置していただけるようお願いをしている状況です。

自治功労者表彰

多年にわたり地方自治の発展と市政の向上に貢献された議員が表彰されました。おめでとうございます。

茨城県市議会議長会表彰

栗飯原 治 雄 議員 特別表彰（議会議員20年）
小 沼 英 明 議員（議会議員 15年）
田 崎 清 議員（議会議員 8年）



一日もはやい 復旧・復興をお祈りいたします

潮来市議会では、熊本県熊本地方を震源とする地震の被災者支援及び被災地の復興に役立てていただくため、義援金として80,000円を 茨城県市議会議長会を通して、九州市議会議長会へ送金いたしました。義援金は、九州市議会議長会より、被災された熊本県市議会議長会及び大分県市議会議長会へ配分されております。

議会の動き

議会の動き

4月

権現山桜まつり

市内小学校入学式

市内中学校入学式

大生殿神社例大祭

教職員歓迎会

関東議長会監事会

関東議長会監事会

十番排水ポンプ運転開始式

県東ブロック議長会

議会運営委員会

県議長会理事会・定例会

青少年相談員連絡協議会総会

あやめまつり実行委員会

高齢者クラブ連合会総会

区長会総会

百里基地周辺市町協力会総会

潮来市地域公共交通活性化協議会

潮来市民生委員児童委員協議会総会

香取市合併10周年記念式典

県内市長・議長合同会議

関東議長会定期総会

関東議長会定期総会

荒川まつり

交通安全母の会連合会定例総会

5月

市PTA連絡協議会総会

全員協議会

水郷潮来観光協会通常総会

潮来市地域女性団体連絡協議会総会

あやめ園整備事業

潮来市ボランティア協議会総会

茨城県議長会止副会長会議

議会運営委員会

総務建設委員会協議会

潮来ばやし保存会総会

小泉大六天王様祭礼

教育福祉経済委員会協議会

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

6月

定例会本会議

潮来の歌フェスティバル

潮来俳句大会

定例会本会議

あやめ杯ブランドゴルフ大会

定例会本会議

文化協会 芸能音楽祭

アヤマ祭協賛 第28回少年剣道大会

水郷県民の森4時間耐久リレーマラソン

定例会本会議

全員協議会

総務建設委員会

教育福祉経済委員会

本会議

行方地域農業改良推進協議会通常総会

潮来市地域公共交通活性化協議会

行方地区交通安全協会総会

シルバー人材センター総会

あやめ祭り協賛短歌大会

水郷潮来シテイレガッタ

ろ舟連航打ち上げ式

行方地域医療協議会

潮来市防犯連絡協議会

潮来市地域自立支援協議会及び研修会

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

水郷潮来直販委員会総会

市長杯クロッケー・輪投げ大会

認定農業者連絡協議会総会

全員協議会

潮来市商工会通常総代会

青少年育成潮来市民会議総会

悠々塾開講式

あやめまつりろ舟安全祈願祭・進水式

あやめまつり開会式

中学校運動会（全校）

潮来トライアスロン全国大会

まちどギャラリー開展式（感謝状贈呈式）

潮来市身体障害者福祉協議会総会

議会運営委員会

社会福祉協議会理事会

定例会本会議

潮来市歌フェスティバル

潮来俳句大会

定例会本会議

あやめ杯ブランドゴルフ大会

定例会本会議

文化協会 芸能音楽祭

アヤマ祭協賛 第28回少年剣道大会

水郷県民の森4時間耐久リレーマラソン

定例会本会議

全員協議会

総務建設委員会

教育福祉経済委員会

本会議

行方地域農業改良推進協議会通常総会

潮来市地域公共交通活性化協議会

行方地区交通安全協会総会

シルバー人材センター総会

あやめ祭り協賛短歌大会

水郷潮来シテイレガッタ

ろ舟連航打ち上げ式

行方地域医療協議会

潮来市防犯連絡協議会

潮来市地域自立支援協議会及び研修会

関係議員

関係議員

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

議長

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

関係議員

議会広報編集委員会研修レポート

読み手の立場に立った広報、親しまれる「議会だより」を目指すため、紙面企画、編集方法、表現方法を学ぶ研修を行いました。

見て、聞いて、学んで、実践！

山形県 川西町議会（かわにしまち）

平成25年に制定された、議会基本条例の2つの柱「町民参加の拡大」と「政策提言」の具現化のため、議会と町民が一体となった議会だよりを目指しているとのこと。

紙面には、定例会の主要情報のほか、各段階の審議から課題や論点が示されるなど、議事の内容がより分かりやすく掲載されていました。また、町民に「広報モニター」、「広報アドバイザー」を委嘱し、「広報モニターからのひとこと」、「インタビュ・住民の声」など、読者の立場から、広報紙を通じて、議会やさらに大勢の読者に向けて発信という形で参加できる住民参加の企画が充実していました。企画、編集、表現方法など、今後の編集に活かしてまいりたいと思います。

山形県 河北町議会（かほくまち）

平成22年に議会基本条例を制定。開かれた議会、活力ある地域づくりには、積極的な情報の公開と、情報の共有が重要であるとして、27年度から議会広報特別委員会を議会広報広聴常任委員会としています。

議会だよりの表紙には「町の後継者たち」と題し、若手農業者やお寺の住職などが登場、中の紙面でプロフィール等が紹介されます。

この企画は、町民の方にとっても人気があり、住民から住民へ伝わる人ネットワークの広報効果が期待できるとのこと。

研修の成果を活かし、紙面づくりを工夫してまいります。

※議会基本条例：自治に基づく議会運営の基本原則を定めた条例



議会傍聴へ
お越しください

次回定例会は
9月6日（火） 開会予定です

議会インターネット放送を
実施しています

本会議の様子をインターネットでご覧いただけます（生放送・録画放送）。

潮来市議会ホームページからご覧ください。



表紙の写真は、伝統ある潮来高校ボート部の部員たちです。7月末の島根県で行われたインターハイにも出場し、全力を尽くしました！3年後の茨城国体、4年後の東京オリンピックに向け期待が高まります。

議会広報編集委員会

委員長
副委員長
委員



薄井 征記
大野 政則
箕輪 昇
飯田 幸弘
兼平 直紀
阿部 慶介

編集後記

議会だよりを愛読いただきありがとうございます。私ども議会広報編集委員会は、委員長以外新人議員です。新人を生かし、新人なりの考えで『市民の目線で、見やすくわかりやすい 手に取りたくなる議会だよりを作りたい』という意思のもと、委員会と事務局全員で試行錯誤を繰り返して取り組み始めました。潮来市が何を考え、市議会がどのような活動をしているか、議会だよりを通して少しでも多くの市民に伝えていきたいと思っています。議会だよりが身近に感じられるよう、これからもっと編集に取り組んでいきたいと思っていますので、より多くの市民の皆様の声をお待ちしております。

（大野 政則）